



平成29年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年7月26日

上場取引所 東

上場会社名 四国化成工業株式会社

コード番号 4099 URL <http://www.shikoku.co.jp/>

代表者(役職名) 代表取締役社長兼 C. E. O. (氏名) 玉城 邦男

問合せ先責任者(役職名) 執行役員 経理部長 (氏名) 片山 和彦 (TEL) 0877-22-4111

四半期報告書提出予定日 平成28年8月10日 配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第1四半期の連結業績(平成28年4月1日~平成28年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第1四半期	12,339	△1.5	1,672	0.5	1,894	△4.2	1,240	△0.8
28年3月期第1四半期	12,522	4.2	1,664	18.5	1,978	30.1	1,250	39.5

(注) 包括利益 29年3月期第1四半期 40百万円(△98.3%) 28年3月期第1四半期 2,463百万円(73.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第1四半期	21.23	—
28年3月期第1四半期	21.41	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第1四半期	74,669	54,396	72.0
28年3月期	77,510	54,855	70.0

(参考) 自己資本 29年3月期第1四半期 53,788百万円 28年3月期 54,240百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	7.50	—	8.50	16.00
29年3月期	—	—	—	—	—
29年3月期(予想)	—	8.50	—	8.50	17.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日~平成29年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	23,500	△4.7	2,900	△22.6	3,000	△24.4	2,100	△18.4	35.94
通期	49,000	△2.5	6,400	△19.7	6,600	△19.5	4,500	△7.3	77.01

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、四半期決算短信(添付資料)4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

29年3月期1Q	58,948,063株	28年3月期	58,948,063株
29年3月期1Q	516,851株	28年3月期	516,801株
29年3月期1Q	58,431,249株	28年3月期1Q	58,437,477株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続を実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

	頁
1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
(4) 追加情報	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、個人消費の低迷に加え、円高や新興国経済の減速を受け、堅調な企業収益やこれを背景とした設備投資に陰りが見えるなど、先行きの不透明感が高まりつつあります。

一方、世界経済は、米国経済を中心に緩やかな回復を続けているものの力強さを欠き、英国のEU離脱問題をはじめとする国際政治の混乱が経済に与える悪影響が懸念されます。

このような状況下、当第1四半期連結累計期間（平成28年4月1日～平成28年6月30日）の当社グループの売上高は123億39百万円（前年同期比1.5%の減収）、営業利益は16億72百万円（前年同期比0.5%の増益）、経常利益は18億94百万円（前年同期比4.2%の減益）、親会社株主に帰属する四半期純利益は12億40百万円（前年同期比0.8%の減益）と、営業利益以外は前年を下回りました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

①化学品事業

（無機化成品）

ラジアルタイヤ向け原料である不溶性硫黄は、輸出が好調に推移しましたが、円高の影響を受け、伸び悩みました。レーヨン・セロハン向けの二硫化炭素は、国内販売が好調に推移しました。浴用剤・合成洗剤向けの無水芒硝は、堅調に推移しました。

（有機化成品）

殺菌消毒剤シアヌル酸誘導品は、国内外ともに好調に推移しました。

（ファイン ケミカル）

プリント配線板向けの水溶性防錆剤タフエースを主力製品とする電子化学材料は、円高の影響を受けたものの、堅調に推移しました。エポキシ樹脂硬化剤（イミダゾール類）を中心とする機能材料は、採算性の向上に努めました。

この結果、化学品事業の売上高は81億7百万円（前年同期比0.2%の増収）、セグメント利益は17億52百万円（前年同期比7.5%の増益）と、いずれも前年を上回りました。

②建材事業

（壁材）

湿式壁材市場の停滞により低調に推移しました。

（エクステリア）

住宅分野は低調に推移し、景観分野も伸び悩みました。

この結果、建材事業の売上高は40億86百万円（前年同期比4.5%の減収）、セグメント利益は3億89百万円（前年同期比15.2%の減益）と、いずれも前年を下回りました。

〔参考情報〕

【販売実績】

セグメントの名称	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	前年同期比(%)
化学品事業			
無機化成品 (百万円)	3,535	3,357	95.0
有機化成品 (百万円)	2,723	3,029	111.3
ファインケミカル (百万円)	1,832	1,719	93.8
小計 (百万円)	8,091	8,107	100.2
建材事業			
壁材 (百万円)	503	489	97.4
エクステリア (百万円)	3,776	3,596	95.2
小計 (百万円)	4,279	4,086	95.5
報告セグメント計 (百万円)	12,370	12,193	98.6
その他 (百万円)	151	146	96.4
合計 (百万円)	12,522	12,339	98.5

(注) 上記の金額には消費税等は含まれておりません。

【海外売上高】

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)		当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	
	売上高 (百万円)	連結売上高に占める 海外売上高の割合 (%)	売上高 (百万円)	連結売上高に占める 海外売上高の割合 (%)
アジア	2,372	19.0	2,004	16.2
北米	1,682	13.4	1,826	14.8
その他の地域	466	3.7	687	5.6
合計	4,520	36.1	4,518	36.6
連結売上高	12,522		12,339	

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産の状況)

総資産は、前連結会計年度末比28億40百万円減少し、746億69百万円となりました。主な増加は、建設仮勘定6億73百万円、主な減少は、投資有価証券20億36百万円、受取手形及び売掛金7億37百万円であります。

負債は、前連結会計年度末比23億81百万円減少し、202億73百万円となりました。主な減少は、支払手形及び買掛金12億96百万円であります。

純資産は、前連結会計年度末比4億58百万円減少し、543億96百万円となりました。主な減少は、その他有価証券評価差額金11億48百万円であります。

以上の結果、自己資本比率は前連結会計年度末の70.0%から72.0%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想は、当初の計画(平成28年4月26日発表)を変更しておりません。なお、主要な為替レートは、108円/米ドル、125円/ユーロと想定しております。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を当第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

これによる損益に与える影響は軽微であります。

(4) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を当第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	20,075	19,751
受取手形及び売掛金	13,780	13,043
電子記録債権	1,086	1,067
商品及び製品	5,805	5,300
仕掛品	68	44
原材料及び貯蔵品	2,542	2,457
繰延税金資産	712	693
その他	185	202
貸倒引当金	△6	△4
流動資産合計	44,251	42,556
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	5,226	5,141
機械装置及び運搬具（純額）	2,661	2,514
土地	8,843	8,843
建設仮勘定	950	1,623
その他（純額）	526	547
有形固定資産合計	18,209	18,670
無形固定資産	326	317
投資その他の資産		
投資有価証券	13,706	11,670
繰延税金資産	270	710
その他	749	747
貸倒引当金	△3	△3
投資その他の資産合計	14,723	13,125
固定資産合計	33,258	32,113
資産合計	77,510	74,669

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,772	6,475
短期借入金	1,930	1,930
1年内返済予定の長期借入金	139	165
未払法人税等	1,729	574
役員賞与引当金	82	19
その他	4,762	4,891
流動負債合計	16,415	14,056
固定負債		
長期借入金	1,622	1,657
繰延税金負債	91	42
再評価に係る繰延税金負債	1,349	1,349
役員退職慰労引当金	98	101
退職給付に係る負債	2,204	2,202
資産除去債務	343	344
その他	529	520
固定負債合計	6,239	6,217
負債合計	22,655	20,273
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,867	6,867
資本剰余金	5,741	5,741
利益剰余金	37,479	38,223
自己株式	△308	△308
株主資本合計	49,779	50,523
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,445	1,296
繰延ヘッジ損益	38	44
土地再評価差額金	2,280	2,280
為替換算調整勘定	△83	△146
退職給付に係る調整累計額	△220	△210
その他の包括利益累計額合計	4,460	3,264
非支配株主持分	614	607
純資産合計	54,855	54,396
負債純資産合計	77,510	74,669

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)
売上高	12,522	12,339
売上原価	7,689	7,478
売上総利益	4,832	4,861
販売費及び一般管理費		
運送費及び保管費	1,013	1,032
広告宣伝費	212	225
給料	539	545
役員賞与引当金繰入額	17	20
退職給付費用	47	48
役員退職慰労引当金繰入額	4	4
研究開発費	330	287
その他	1,003	1,024
販売費及び一般管理費合計	3,168	3,188
営業利益	1,664	1,672
営業外収益		
受取利息	3	3
受取配当金	283	404
為替差益	60	—
雑収入	6	9
営業外収益合計	353	418
営業外費用		
支払利息	6	6
売上割引	31	31
為替差損	—	157
雑損失	1	1
営業外費用合計	39	196
経常利益	1,978	1,894
特別利益		
補助金収入	17	14
特別利益合計	17	14
特別損失		
固定資産除却損	8	5
特別損失合計	8	5
税金等調整前四半期純利益	1,986	1,903
法人税等	732	657
四半期純利益	1,254	1,246
非支配株主に帰属する四半期純利益	3	6
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,250	1,240

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)
四半期純利益	1,254	1,246
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,195	△1,158
繰延ヘッジ損益	△7	5
為替換算調整勘定	13	△62
退職給付に係る調整額	8	9
その他の包括利益合計	1,209	△1,205
四半期包括利益	2,463	40
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,453	44
非支配株主に係る四半期包括利益	10	△3

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	化学品事業	建材事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	8,091	4,279	12,370	151	12,522	—	12,522
セグメント間の内部売上高又は振替高	0	—	0	55	55	△55	—
計	8,091	4,279	12,371	206	12,578	△55	12,522
セグメント利益	1,630	459	2,090	21	2,111	△447	1,664

(注)1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、情報システム事業及びフード事業を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△447百万円には、セグメント間取引消去0百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△447百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	化学品事業	建材事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	8,107	4,086	12,193	146	12,339	—	12,339
セグメント間の内部売上高又は振替高	0	—	0	58	58	△58	—
計	8,107	4,086	12,193	204	12,398	△58	12,339
セグメント利益	1,752	389	2,141	26	2,168	△496	1,672

(注)1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、情報システム事業及びフード事業を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△496百万円には、セグメント間取引消去0百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△496百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。